

「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に3年連続認定されました

森永乳業は、経済産業省と日本健康会議(※)が共同で選出する「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に3年連続認定されました。

※ 少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体



当社は、2017年に「森永乳業 健康宣言」を発信し、「森永乳業健康経営プログラム」を進めています。フィジカルケア、メンタルケア双方の観点における「予防、治療、再発予防」の取り組みと、従業員のさらなる健康増進活動を推進しています。また、健康の基盤となる安全に業務を遂行できる環境づくりを確保することを定めた「安全衛生基本方針」を策定し、公開・周知しています。

【森永乳業健康経営プログラムの主な施策】

① フィジカルケア

- ・人間ドックや女性特有のがん検診に対して費用補助
- ・森永乳業グループの健幸サポート栄養士(※)が講師となり、「女性の健康」「シニア向けのアクティブエイジング」など様々なテーマで社内向け健康セミナーを定期的で開催(※厳しい研修を受けた森永乳業グループの特別な栄養士)
- ・健康診断の結果については、健康保険組合と産業保健スタッフや事業所健康管理責任者間で連携し、健康ハイリスク者を管理するとともに、2次検査の受診勧奨や保健指導を実施

② メンタルケア

- ・全従業員向けセルフケア研修、管理職や職場責任者向けラインケア研修を実施・ストレスチェックの実施、および実施後の組織診断と、必要に応じてカウンセラーによる個別フォローアップを実施
- ・無料のメンタルヘルス相談窓口の設置

③ 疾病の治療と仕事の両立支援

- ・時差出勤や短時間勤務、短日勤務制度など、治療と仕事の両立のための支援制度を制定
- ・長期療養者が安心して療養に専念できるよう、収入面での支援
- ・復職支援プログラムの充実

今後も、かがやく“笑顔”のために、健康経営を推進してまいります。